

31. トレビス

・殺虫剤

| IRAC コード | 薬剤名 | 使用方法 | 使用時期 | 使用回数 | 備考 |
|-------------|------------|------|-----------------|------|--------------|
| 6 | アフーム乳剤 | 散布 | 収穫前日まで | 3回以内 | |
| 11 | ゼンターリ顆粒水和剤 | 散布 | 発生初期(但し、収穫前日まで) | - | 野菜類(はくさいを除く) |
| 4 | モスピラン顆粒水溶剤 | 散布 | 収穫前日まで | 1回 | |

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決めているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける(「薬剤抵抗性管理」参照)。

注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。

| 病害虫名 | 防除時期 | 防 除 方 法 | 注 意 事 項 |
|--------|------|--------------------------------------|---|
| アブラムシ類 | 生育期間 | 1. モスピラン顆粒水溶剤2,000倍液を散布する。 | 1. モスピランは蚕毒に特に注意する(特別指導事項参照)。 |
| オオタバコガ | 生育期間 | 1. アフーム乳剤、又はゼンターリ顆粒水和剤の1,000倍液を散布する。 | 1. オオタバコガの産卵最盛期は7～8月末である。この時期の作型では薬剤抵抗性発達回避のため、ローテーションしながら発蛾盛期を中心に1週間間隔で2～3回散布する。 2. アフームは蚕毒及び魚毒に、ゼンターリは蚕毒に特に注意する(特別指導事項参照)。 |